

英語科学習指導案

日 時 令和 4 年 11 月 2 日 (水)
対 象 第 1 学年

1 単元名 Lesson 7 High School Aquarium (『COMET English Communication I』 数研出版)

2 単元の目標

- (1) 本文を読んで、水族館部の生徒たちの活動について知る。
- (2) 現在完了形について理解する。
- (3) 学習内容を活用して、自分の学科について英語で説明する。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 文章を読み取るために必要となる語彙や表現を理解している。 ② 情報や考えを述べるために必要な語彙や表現、音声等を理解している。 ③ 自分の考えを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。	① 高校の水族館部の活動について書かれた説明文を読んで、概要や要点を捉えている。 ② 聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えている。	① 高校の水族館部の活動について書かれた説明文を読んで、概要や要点を捉えようとしている。 ② 聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えようとしている。

※ア・イについては、考査を通して評価する。

4 本時 (全 9 時間中の第 2 時)

(1) 本時の目標

- ・水族館部での仕事内容について理解している。(イ―①) (ウ―①)
- ・新出語彙や語句の意味を理解している。(ア―①)

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・ 学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 20分	(1)挨拶・出欠確認 (2)単語テスト ① 3分間で実施する。 ② ペアで交換し、採点する。 ③ 自分の答案用紙を Teams にて提出する。 (3)単語練習 ① 教師のあとに続いて、単語とチャックを発音する。 ② Quizlet Live を使い、当てはまる単語をグループで協力して解答する。(3回繰り返す)	・発音に間違いがあれば指摘し、発音記号を示して訂正・再度練習する。 ・繰り返し行い、定着を目指す。 ・グループを連合制にし、自分のグループが負けていても最後まで努力させるよう促す。	

<p>展開 25分</p>	<p>(1)プリント「単語・熟語をチェック」</p> <p>① 新出単語・熟語について、教師のあとに続いて発音練習する。</p> <p>② 解ける単語・熟語について、生徒はまず独力で解答を記入する。</p> <p>③ 教師の本文音読を聞いたり、本文を目で追ったりしながら、まだ意味のわからない単語・熟語について意味を推測して解答を記入する。</p> <p>④ ペアで解答を確認する。</p> <p>⑤ クラス全体で答え合わせをする。</p> <p>(2)プリント ◆Reading Point</p> <p>① 質問を音読し、内容を確認する。</p> <p>② 質問に対し、生徒はまず独力で取り組み。</p> <p>③ グループで解答を共有し、合意した解答を Teams に投稿する。</p> <p>④ 教師はフィードバックを与え、模範解答を示す。</p> <p>⑤ 教科書本文の2つの問い“What do you do in the club?” “How do you feel about your activities?”のうち、どちらの問いの回答から RP の解答が導き出せるか問いかける。</p>	<p>・発音に間違いがあれば指摘し、発音記号を示して訂正・再度練習する。</p> <p>・机間指導を行い、生徒が難しいと感じたポイントを掴む。</p> <p>・机間指導によって得られた情報をもとに、フィードバックを行う。特に、単語の意味を推測する方法については、生徒とやり取りしながら正解を引き出していく。</p> <p>・机間指導を行い、生徒の活発な意見交換を促す。</p> <p>・解答が出ない場合、学習活動⑤に先に進み、理解を促す。</p> <p>・良い点を中心に取り上げる。</p> <p>・前 Lesson で取り上げた Topic Sentence と関連させつつ、読解力を向上させるために効率のよい読み方を意識させる。</p>	<p>ア①（発表）</p> <p>イ①（発表） ウ①（観察）</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>(1) Reflection Sheet に本時のふりかえりを記入する。</p> <p>(2) 挨拶</p>		<p>ウ①（提出）</p>